

令和6年度下半期水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設、老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、885,889,472 円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における配水管布設工事を行い、口径 75～300mm の配水管を 4,732m 布設しました。

改良事業では、4,465,669,116 円を投じ、老朽铸铁管等の更新工事として、口径 75～800mm の配水管等を 14,692m 布設しました。

また、令和4年度から令和6年度の3ヵ年継続事業である神根浄水場受変電設備等更新工事、令和5年度から令和6年度の2ヵ年継続事業である横曽根浄水場配水ポンプ盤等更新工事、令和6年度から令和7年度の2ヵ年継続事業である横曽根浄水場計装監視盤等更新工事のほか、新郷浄水場プロセスコントローラ更新工事、横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は 12,795,301,839 円で、予算現額 13,052,750,000 円に対し執行率 98.0%、受託工事収益は 70,578,000 円で、予算現額 76,345,000 円に対し執行率 92.4%、水道利用加入金は 583,396,000 円で、予算現額 594,176,000 円に対し執行率 98.2%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入等を加えた収入総額は 14,274,394,037 円で、予算現額 14,488,173,000 円に対し 98.5%の執行率となりました。

一方、収益的支出の決算額は 11,922,180,891 円で、予算現額 12,543,438,000 円に対し 95.0%の執行率となりました。主な内訳は、原水及び浄水費 4,558,782,979 円、減価償却費 2,988,055,071 円、配水及び給水費 2,455,052,589 円、となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は 2,352,213,146 円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債 1,522,200,000 円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、負担金を加えた決算額は 1,651,936,543 円となり、予算現額 1,731,769,000 円に対し 95.4%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は 6,956,831,279 円で、予算現額 8,045,986,000 円に対し 86.5%の執行率となりました。内訳は、建設改良費 5,367,362,177 円、企業債償還金 1,589,469,102 円となっています。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は 607,940 人で、前年度に比べ 664 人（0.1%）増、給水世帯数は 308,605 世帯で、前年度に比べ 4,213 世帯（1.4%）増となっています。

年間総配水量は 62,728,225 m³で、前年度に比べ 325,333 m³（0.5%）の増となり、有収水量は 56,140,046 m³、有収率は 89.50%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B - A	執行率 B / A (%)
給水収益	13,052,750,000	12,795,301,839	△ 257,448,161	98.0
受託工事収益	76,345,000	70,578,000	△ 5,767,000	92.4
水道利用加入金	594,176,000	583,396,000	△ 10,780,000	98.2
その他営業収益	494,645,000	462,339,729	△ 32,305,271	93.5
受取利息	1,084,000	7,210,326	6,126,326	665.2
長期前受金戻入	241,417,000	247,325,376	5,908,376	102.4
雑収益	27,755,000	52,438,445	24,683,445	188.9
固定資産売却益	0	25,824	25,824	-
過年度損益修正益	1,000	55,778,498	55,777,498	5577849.8
計	14,488,173,000	14,274,394,037	△ 213,778,963	98.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A - B	執行率 B / A (%)
原水及び浄水費	4,821,299,000	4,558,782,979	262,516,021	94.6
配水及び給水費	2,575,900,000	2,455,052,589	120,847,411	95.3
受託工事費	88,834,000	71,894,746	16,939,254	80.9
業務費	1,097,123,000	1,053,661,027	43,461,973	96.0
総係費	369,459,000	349,948,792	19,510,208	94.7
減価償却費	3,014,344,000	2,988,055,071	26,288,929	99.1
資産減耗費	37,400,000	27,593,518	9,806,482	73.8
支払利息	306,237,000	296,611,492	9,625,508	96.9
消費税及び地方消費税	190,711,000	81,784,000	108,927,000	42.9
雑支出	3,225,000	3,126,504	98,496	96.9
固定資産売却損	210,000	72,000	138,000	34.3
過年度損益修正損	34,889,549	35,598,173	△ 708,624	102.0
予備費	3,806,451	0	3,806,451	-
計	12,543,438,000	11,922,180,891	621,257,109	95.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出一覧

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B - A	執 行 率 B / A (%)
企業債	1,580,000,000	1,522,200,000	△ 57,800,000	96.3
固定資産売却代金	22,000	174,276	152,276	792.2
受託工事収入	55,487,000	40,803,000	△ 14,684,000	73.5
負担金	96,260,000	88,759,267	△ 7,500,733	92.2
計	1,731,769,000	1,651,936,543	△ 79,832,457	95.4

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A - B	執 行 率 B / A (%)
建設改良費	6,456,516,000	5,367,362,177	1,089,153,823	83.1
企業債償還金	1,589,470,000	1,589,469,102	898	100.0
計	8,045,986,000	6,956,831,279	1,089,154,721	86.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

給水の状況

区 分	A 令和6年度	B 令和5年度	C 差 引 (A - B)	増 減 率 C / B (%)
給水人口 (人)	607,940	607,276	664	0.1
給水世帯数 (世帯)	308,605	304,392	4,213	1.4
総配水量 (m ³)	62,728,225	62,402,892	325,333	0.5
1日平均配水量 (m ³)	171,858	170,500	1,358	0.8

地方債現在高

令和7年3月31日現在

1 地方債

借入先	水道事業会計
財政融資資金	千円 25,880,315
地方公共団体金融機構	3,044,154
合 計	28,924,469

令和7年度水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和7年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は14,359,148千円で、前年度に比べ129,025千円（0.9%）の減を見込んでいます。減額の主な理由は、給水収益、長期前受金戻入の減によるものです。

収益的支出の合計額は12,802,008千円で、前年度に比べ73,561千円（0.6%）の増となっています。増額の主な理由は、委託料、退職給付費、減価償却費の増などによるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は1,914,873千円で、内訳は、企業債1,610,000千円、固定資産売却代金8千円、受託工事収入190,041千円、負担金114,824千円となっています。

資本的支出の合計額は7,532,992千円で、内訳は、建設改良費5,914,729千円、企業債償還金1,618,263千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,618,119千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額490,501千円、減債積立金1,480,000千円、過年度分損益勘定留保資金2,311,958千円、当年度分損益勘定留保資金1,335,660千円で補てんします。

3 給水状況

令和7年度の総配水量は61,732,000 m³で、このうち、県営水道からの受水量は56,257,000 m³、深井戸からの取水量は5,475,000 m³を見込んでいます。

有収水量は55,411,000 m³、予定有収率は89.76%を見込んでいます。